〔大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可〕 （日刊） 一日發行 昭和八年九月二日 新京日日新聞 （土曜日） 第三千八百三十四號 （一）

夕刊
新京日日新聞

原始的農業主義から技術農業へ移向

同時に農民副業を奬勵

滿洲國實業部に於ては日滿經濟ブロツク强化並びに全滿產業開發促進の見地より滿洲產業の『根幹』をなす農政策の轉換を企圖し、從來の大豆、高粱等原始的農業中心主義より技術農業への移行即ち北滿小麥、南滿棉花の栽培を獎勵し農業收益の增大を圖ると共に日滿兩國の棉花、食料問題の根本的解決を圖るべく根本方針樹立に關し具體的研究を進めて居るが、同部に於いてはこれと並行して農民副業の積極的獎勵を圖るべくその第一着手として南滿の重要產物たる野蠶飼育の獎勵を行ふこととなり、具體的研究を進めて居る、南滿に於ける野蠶業は遼東半島、安奉沿線より東邊道一帶に亘り年產一千百萬圓の巨額に達し、特產石炭に次ぐ重要輸出物にして日本內地に於て原料に加工精製、絹紬として年額二千萬圓程度の海外輸出を行つて居る。日滿共同の重要產業であるので、實業部に於いては從來野蠶飼育改良研究を持續し來つた滿鐵と協力、來春飼育期と共に改良種の普及、繭蠶の『增加』を圖ると共に、現在の原始的製糸法の改善に着手することとなつた

三岔河附近の產米年卅萬石

滿人の需要も增加

〔ハルビン廿九日發國通〕北滿、三岔河、一面坡、海林、二層甸子、烏吉密河、通河、三姓、方正、木蘭、荒山咀子聚源昶の各地方で產する米は三十萬石とされてゐるが耕作者は朝鮮人が首位を占めてゐる、ハルビンに於ける邦人の米の消費高は年十五、六萬石見當であるが、米の需要は昨年の未曾有の洪水以來滿人側に非常に多くなつて來てゐる 値段は大洋票の變動によつて上下するがハルビンでは日本の樣に米の値段の高低に關心は拂はれてゐない、拉濱線が開通すれば米の値段は種々の變動を來たすだらうと當業者は稱してゐる

四分利公債發行に關し

黑田次官語る

〔東京卅一日發國通〕四分公債發行に關し黑田大藏次官は語る

四分利公債の發行は明治四十三年桂內閣が發行した以後始めてだが、當時と今日とは金融狀勢が全然異つてゐるから今回の四分公債發行には何等無理がないと信ずる

四分利公債の發行條件を決定するに當つては成るべく償還期限を延長すると共に今回の發行額の多額な事及び今後逐次來るべき巨額の發行をも考慮に加へ必ずしも四分利公債の時價に拘泥せずに決定したのである

新公債發行條件

大藏省發表

〔東京卅一日發國通〕四分利公債三億圓發行に關し三十一日大藏省は左の如く發表した

政府は九月四日四分利公債券額面三億圓を日銀引受けをもつて發行することに決定し、右の中には滿洲事件費分一億圓、八年度歲入補塡分一億四千三百萬圓が含まれてゐる發行價格額面百圓につき九十八圓五十錢、償還期、昭和三十三年九月一日迄（二十五ヶ年）利率四分である

人絹の猛烈な海外飛躍に伴ひ

人絹織物振興調査會を設置

全國的統制を行ふ

〔東京三十一日發國通〕人絹織物は近年世界各市場へ飛躍的進出をなし、將來綿紡織以上の重要產業たらんとして歐洲各國に對し脅威を與へてゐるが內地人絹織物生產業者は地方に散在する中、小企業家で人絹織物業者の全國的統制機關を有せず多大の不便を感じつつあつたが、今回日印シムラ會商に刺戟され愈々日本人絹織物振興調査會を設立することに決定、人絹織物の全國的統制を圖ると共に海外進出に就ては政府當局と連絡協議を行ひ活躍することになつた

米穀統制法實施に伴ふ

最低價格は一石二十三圓程度

〔東京卅一日發國通〕農村經濟の中樞たる米價は依然低落步調を辿るのみで殊に昨今の如く豐作を見越し低落に向ふので農村の苦惱は一層倍加しつつあり、今や農村社會問題たらんとし、政府に於ても目下米穀問題に關心を拂つて居る、而して來る十月一日には米穀統制法の發動を見るので之に期待が懸けられて居るが、右統制法によつて最低價格は一石二十三圓程度とされる模樣で、民間側では二十五圓以上を主張しつつあり更に右統制法の恩惠に浴せざる即ち早場地方石川、富山、新潟等諸縣の農會では政府に對し大量買上げと共に米の生產制限を考慮されるやう陳述に及んで居り米價問題は今後重大問題たらんとして居る

米價の低落で

北陸四縣農民大會

農村救濟を陳情

〔東京卅一日發國通〕諸物價は恢復したが米價のみは取殘された有樣で、米價救濟運動の形式で農村振興運動が全國的に擡頭せんとする形勢にあるが、福井、新潟、富山、石川の早場四縣聯合の農民大會では

一、新米穀年度に先だつて政府は大量の買上を爲すべし
一、適當な方法で米穀生產制限を爲すべし
一、農民の負擔輕減の實現を圖られ度い

と決議し關係各省、各政黨に陳情した

產金六社より大藏省に

金相場値上げを建議

〔東京卅一日發國通〕アメリカの新產金法令の影響により昂騰したが產金六社の組織する水曜會では緊急總會で協議の結果、大藏省に金買上げ相場基準變更を建議するに決定、即ち米の新法令の結果三月六日米の金輸出禁止以來一オンス二十弗臺に止められてゐた金相場は三十弗位に昂騰すると見られて居り之を邦貨に換算すれば十三圓二、三十錢である、三十日入電のロンドン、パリーの金相場も略々同樣で今後金相場は世界的な平衡運動を起すと觀られる、此際大藏省が金買上げ最低値段を變更せねば金密輸の起る怖れあり、此際金相場は世界の相場から運賃保險料を差引いた十一圓五十錢か十二圓見當が妥當と云ふのである

滿洲國の財政近狀に就て（三）

財政部總務司長 星野直樹

次に關稅行政の重要なる仕事は稅關機構の整備充實であります、蓋し滿洲國の稅關は中華民國の海關を接收し、それを基礎と致して居るものでありますが、中華民國の海關はその沿革より見て、獨立國家の稅關としては不充分の點が少くありません、又中華民國との國境線に於きましては新に稅關を創設するを要するのであります、從つて滿洲と致しましては昨年の秋以來稅關の充實整備を計りつつあるのでありますが、九月には山海關に稅關を設立し、今年春には馬占山、蘇炳文の亂を平ぐると共に北滿の綏芬、同江、滿洲里の三稅關を完全に接收し、ソヴエートロシヤに對する國境關稅線の基礎を作り、更に本年三月熱河の治安を恢復すると共に承德に稅關を設け、灤平、古北口、喜峰口、界嶺口等長城の要路に分關を設けて中華民國に對する關稅線を確保することに致しまして、七月一日より愈々現實に熱河省城に於て關稅を徵收致して居ります、新らしき稅關が古北口を通つて來るキャラバンに對し、又灤河を逆つて來るギャングに對して課稅する有樣は滿洲國の存在を明確に示す最も面白い一幅の繪であります

只今では關稅線の出來て居ないのは西方の部分のみでありまして、此の部分の關稅線の完成は治安其他の關係がありますから尙相當の期間を要することは止むを得ないと考へます、之等の地方を除きましては今や略關稅線の體系を整ふることが出來ました

次に滿洲國の鹽務行政に就いて申上げます、滿洲に於ては從前より海鹽に對して一擔に付六圓三十錢、湖鹽に對しましては五圓の鹽稅を徵して居る外特に吉、黑兩省に於きましては吉黑榷運署なる專賣機關が設けてありまして此稅の外相當の專賣益金を擧げて居ります、即ち鹽に對する負擔は甚だ過重でありまして將來稅制を整理しますに當つて鹽稅の如きは相當考慮する要あることは、疑ひありません

只今日の狀態と致しましては鹽稅は我國に於て多額の稅收を收め、內國稅中最も重要なる地位を占めて居りますから今俄かにこれが減稅をなすことは不可能であります、從つて滿洲國と致しましては、之を根本的に改正して國民負擔の輕減を計ることは將來の問題と致しまして、今日の狀態に於きましては特に不當なりと認めらるる部分に就ての減稅を實行すると共に從來鹽稅確保の爲に存して居つた各種の制限を緩和し、その生產流通を滑ならしむることを期することと致しました、

其方法として行ひましたるは第一に特に吉黑兩省に存して居つた警費鹽捐と稱する鹽に對する二重課稅を廢止致しました、第二には復州鹽場の鹽を買ひ取つて之を工業用鹽として日本に輸出致しました、第三は間島に於ける鹽の密輸入を徹底的に防止すると共に內地に於ける鹽價を著しく引下げましたこと等でありま

珠玉を碎く

吉井勇
（高根秀浩畫）

（百五）

搖めく幕（一）

日本劇場の初春興行は、座附きの男女優が、殘らず出演するといふ大一座で開けられた。狂言は春らしく、序幕に『曾我の對面』があつて、それから一番目が新作の『源賴朝』中幕が『熊谷陣屋』二番目が『御所の五郎藏』それから最後に『鏡獅子』があるといふ並べ方だつた。何しろ樂屋の部屋割にも困る位の大一座なので、女優の連中は京子が一番目の『賴朝』で政子を演つてゐるのと、露子が『御所の五郎藏』で逢州を演つてゐる位が主なもので、後はみんな『鏡獅子』の手古舞一役だけで、唯ほんの舞臺に顏を出すといふだけに過ぎなかつた。

初日は元日だつたが、その日は最う三時の開場の二時間位も前から、三階四階の觀客はどんどん詰めかけて來て、札賣場の前には可なり長い人の列が作られてゐた。

晴々と晴れ渡つた正月らしい日和からは、輝々たる日射がこれ等の人達を長閑に照らした。劇場の前の素晴らしく大きな松飾りや、掲げられた日の丸の旗にも、春めいた風がおもむろに吹いた。

開場の一時間ばかり前になると、札賣場では札を賣り始めたので、牛町ばかりも續いてゐる人の列は、忽ちのうちに吸ひ込まれるやうに、劇場の戶部に消えてしまつたが、しかしもうこの時分になると、一階や二階の客が自動車や俥で續々車寄のところへ乗り着けて來た。正月のことなので、みんな美しく着飾つてゐるので、車寄の石段を登つてゆく女達の姿は、みんないつもよりはずつと華やかで、如何にも春興行の觀客らしい晴やかな感じが與へられた。大抵前賣切符で賣れてしまつてゐるので、もう開場の前に『滿員』の札が掲げられた。開き前の一種緊張した心持が觀客席を一體に支配してゐて、賑やかなざわめきの中にも、何か待つものがあるやうなときめきが、自ら釀し出されてゐた。舞臺を蔽ふやうに正面のところに、どつしりと重く垂れた幕も、人いきれのために微に搖めいてゐるやうに見えた。

と、もう開場の時刻に間もない二時分だつた。ビックの箱形の自動車が、南側の車寄に着いたかと思ふと、中から蹴用に横のドアを開けて、ひらりと、身輕にその石だたみの上に飛び降りたのは英一だつた。續いて美しく化粧をして、橫樣のある着物を着た千枝子が、靜かに車の中から出て來た。

『お兄樣。まだ開かないのでせう』

千枝子は石段に上がりながら英一に訊いた。

『あゝ、まだゝよ』

英一はさう返事をしながら入口に立つてゐる、黑い服に白いエプロンを懸けた女給に、手に持つてゐた切符を渡した。

『どうぞこちらへ……』

女給がさういつて二人を案內して行つたところは、舞臺から十二三列離れて、少し上手寄りの、かなり見いゝ席なのだつた。

『大變な入りですわね』

千枝子は椅子に腰を下すと、懸るやうに英一にいつてから、誰か知つてゐる人はゐないかといつたやうな目付で、暫らくそこらを見廻してゐた。

『誰か知つてゐる人でも來てゐるかい……』

番組の役割に目を通してゐた英一は、ぢつと露子の名前のところに目を注ぎながら顏も上げずに聞いた。

『いゝえ、誰も……。しかし今日はきつと誰かお友達に會ふことよ』

『うん……』

英一は何か考へてゐるやうに、ひどく氣のない返事をした。

そのうち幕の向ふから胸をときめかせるやうな柝の音が聞えて來た……。

米太西洋艦隊を太平洋に滞留せしむ
米海軍々令部長堂々と聲明
太平洋上浪高し

（ワシントン卅日發國通）米國海軍々令部長は目下太平洋に滞留させてゐる大西洋艦隊を大西洋に歸還させる意思なく現在の方針を變更せぬと聲明した

南京政府飛行機購入のため航空彩票を發行す

（大連卅一日發國通）三十一日正午上海より大連に歸港した大汽船奉天丸が齎らした所に依ると南京政府は飛行機購入の資金を捻出する爲、航空彩票を發行し目下第二回目を發行中で非常な人氣を集めてゐる、此の彩票の頭彩賞金は五十萬元で第一回の頭彩は上海居住の某露人に當籤したと

「中韓統一革命」東亞大秘密結社結成
日滿當局嚴戒中

（奉天三十一日發國通）昨年四月二十九日上海新公園に於て白川大將等の日本文武官を多數殺傷した不逞鮮人團は其の後反滿抗日の中國共産分子と合流急進東亞大秘密結社を組織李奉昌の意志を繼ぎ「中韓統一革命」をスローガンとして盛んに暗躍をなしつつあるが加盟者を嚴選の上從來の素質の低級なるものの加盟は絶對に許さず會員も從來の共産黨員とは異なり從つて綱領組織等に於ても全然相異しておる、會員は既に一千餘名に達し北平、上海、天津、新京等の樞要地に支部を設け北平支部長劉貴民、天津支部長崇爾亭、新京支部長張貫等で彼等の兇刃は暗々裡に磨かれつつあるので日滿當局では嚴戒中である

支那代理公使
桑島亞細亞局長訪問

（東京三十一日發國通）支那代理公使江華本氏は午前十時外務省に桑島亞細亞局長を訪問し宋子文の寄港の際に於ける警戒を感謝し支那勞働者に對する取締りの緩和を希望し併せて福建に於ける共産軍の情報を交換し十一時辭去した

事態危急を告げれば更に軍艦を急派
憂慮される福州の狀勢

（東京三十一日發國通）共産軍の重圍の中にある福建省福州にある在留邦人保護のため帝國海軍よりは廿九日五十鈴、呉竹、若竹を現地に派遣したが事態如何によつては更に厦門方面にも馬公要港部より軍艦を急派すべく準備を整へてゐる

福建省在留邦人數

（東京卅一日發國通）海軍省發表福建省方面の在留邦人は左の如し

△福州 約二千人
内地人…男 九十六人
女 百十三人
子供 八十四人
計…二百九十三人
臺灣人…約一千七百人

△厦門 約九千人
内地人…男 百二十九人
女 百七人
子供 百八人
計…三百四十四人
臺灣人…八千七百二十人

藍衣社員を以て暗殺團を組織
李際春の暗殺には二十五萬元と地位を與へる

（東京一日發國通）確實なる筋への入電に依れば滿洲攪亂の目的を以て滿洲出身藍衣社員三十名の決死隊を編成した同社首腦部は、蔣介石の意圖に基づき更に李際春以下北支に在る滿洲系要人暗殺團を組織し張某の率ゐる三十名は二十五日、他の一隊三十名は二十七日北平發李際春の住所唐山に潛入したい、李際春暗殺成功の團員には二十五萬元の賞金と相當の地位とが懸けられて居ると

支那の逆宣傳效を奏せず

（奉天卅一日發國通）支那中央政府は滿洲國の政治上の成績其の各機關の完備に關する記事を新聞、雜誌等に掲載することを禁ずる一方各方面に宣傳員を派し「滿洲國は日本の壓迫横暴のため政治其他各機關の運用にさかく圓滿を缺き各地には匪賊跳梁、住民は塗炭の苦しみをなめてゐる」と宣傳してゐるが、地方民は滿洲の親戚知己等より本年は高粱繁茂期にありても極めて平穩で王道政治の趣旨徹底しあるとの實狀を通信其の他によつて齎らし來るので右逆宣傳奏效せず目下之が對策を鋭意考究中である

劉和鼎軍延平を奪回す

（東京三十一日發國通）陸軍省着電に依れば共産軍のため占領された延平は二十八日劉和鼎軍の背腹攻擊によつて遂に奪回された

今回の延平陷落は同地守備の劉和鼎が赤軍の勢に恐れその保管して居た兵器彈藥を建甌に輸送中の虚を便衣隊に乘ぜられ遂に占據されたものであつて劉和鼎は延平奪回後各方面に救援を求めて居る、二十八日蔡廷楷軍の一部は延平、福州に向つて進出したので福州は小康を得た模樣である一方延平附近の住民は官憲の布告をも聽かず避難者續出し附近一帶は大混亂を呈して居る

シムラ會議
九月二十二日からと決定
門野顧問急派に決定

（東京一日發國通）シムラに於ける日印通商會議の開會期につき在シムラの三宅總領事と印度政廳側との間に打合せ中だつたが三十一日外務省へ到着の公電によれば印度側會議が九月二十日をもつて終了するから同二十二日より正式會議を開會することに決定したと、仍つて外務省では今後帝國代表へ與ふべき追加訓令を作製することとなつたが、取敢えず國際經濟會議顧問の門野氏を急遽印度へ派遣せしめ會議を側面より援助せしめることに決定、三十一日同氏宛に訓電を發した

同氏は九月中旬英國を出發し印度へ急行する筈である

（東京一日發國通）門野顧問は歸朝の途シムラ會議に列席するが外務省では同氏の資格を政府顧問か或は一私人として自由に活躍させるかは一切門野氏の自由意思に一任することに決定、その旨松平大使を通じて門野氏へ電達した

九月上旬より豫算查定會議開く
新規要求は緊急のもの以外削除
主計局の查定方針

（東京一日發國通）大藏省主計局は八月上旬以來約一ケ月に亘つて二十七億圓の巨額に上る明年度の概算要求につき各省關係官を招致して綿密なる説明を聽取してゐたが、八月末をもつて一應終了したので愈々九月上旬より一ケ月の豫定で查定會議を開くことゝなつた、而して查定會議の俎上に上る明年度の要求は標準豫算十四億二千萬圓、新規要求十三億圓であつてこれに對する主計局の查定方針は

一、新規要求は眞に緊急已むを得ざるものゝ外これを削減のこと
一、陸海軍事費は内外の情勢に鑑み特に緊急を要するもののみに止め、且つ財政の現狀に鑑み必要の最小限に削減のこと
一、滿洲事件費は滿洲の治安狀態に鑑み極力減額のこと
一、事局匡救費は農村に於ける蠶糸價恢復、都市に於ける軍需工業の振興に伴ひ既定計畫を極力縮少すること

等にして主計局は十年度以降に於いて着手すべき財政計畫の樹直しを考慮し其の基礎工作を明年度の豫算查定上按配せんとする一大決心を有してゐるこれが爲、概算の説明聽取に就いても既定費新規事業の全般に亘り一ケ月と云ふ長時日を要したが更に其の查定に當つて一ケ月の豫定で未曾有の精査主義を執つて臨み、斷乎斧鉞を加へ同一乃至類似の事業はこれを一緒に整理統一せんとする意氣込みである

議會直前に各黨總裁と會見
首相重要政策の諒解を求める

（東京三十一日發國通）齋藤首相が三黨首と精神的結合に漕ぎつけたのは政府の目的の一端を達した譯であるが今後政府は各省を督勵豫算編成に邁進すべく豫算案法律案の具体化を急ぎ具体案の作成を待つて十月、十一月に各黨總裁と數次の會見で議會直前に重要政策に關し諒解を求める段取りである、問題は政府が努力中の來年度施設豫算が民要望の非常時打開政策があるか否かで政、民二黨みにならぬ樣監視が必要であると言はれてゐる

首相來る六日
上院正副議長と會見

（東京卅一日發國通）齋藤首相は既報の通り貴院方面の諒解を求むべく近衛公と會見に就き打合せを行つたがその結果首相は來る六日午後四時より首相官邸に於てお茶の會を催し近衛、松平正副議長を始め貴族院の各派交渉委員四十七名を招待し、席上首相より議會協定に關する三黨首との會見經過を報告し、今後貴族院でも非常時打開のため支援を與へられたき旨を述ぶることゝなつた

白鳥スエーデン公使
十四日出發赴任

（東京卅一日發國通）白鳥公使は十四日午後三時横濱出帆の淺間丸でアメリカ經由スエーデンに赴任する豫定である

近衛公とは九月上旬會見
各派の支持を求む

（東京卅一日發國通）政府は過般齋藤首相の政民、國同三黨首との會見により衆議院側の精神的結合を終つたが、首相は更に貴族院側の諒解支援を求めることゝなり、先づ近衛貴族院議長と

═會見═

する爲め三十日貴族院書記官長を招致し近衛議長に首相の意圖を至急傳達するやう依頼した結果、輕井澤に避暑中の近衛公は九月上旬豫定を繰上げ一旦東京に歸り首相と會見する運びとなつた、而して近衛公との會見では首相が衆議院側三黨首になしたると同樣の擧國一致國力を統一し國策を遂行したき眞情を述べ貴院の援助を懇請することと思ふが、近衛公を通じ貴院各派交渉委員にその傳達方を依頼するが更に首相自ら

═貴院═

各派交渉委員と膝を交へて懇談するかは近衛公との會見の際近衛公の意見をも徴して後決定の筈で、この貴院側との會見によつて貴衆兩院の支持を得、政局を全く安定せしめ愈々劃期的國策遂行に取掛からんとする首相の意向であると

治法撤廢の可否は其の方法と時期
─皆川司法次官談─

（大連卅一日發國通）司法次官皆川治廣氏は大竹司法書記官帶同、滿洲國司法事務視察の爲三十一日午前八時入港のうすりい丸で來滿したが、船中出迎への記者に左の如く語つた

滿洲には日露戰爭當時國際法顧問として第四軍に從軍して來たきりだ、恐らく滿洲は隔世の感が有るに違いない、滿洲に於る治外法權撤廢問題には自分は非常な興味を持つて居る、滿洲に限らず支那に對しても治外法權撤廢は日本の好意ある處を示す爲にその趣旨は最も贊成する處であるが、要はその方法時期にある、撤廢後に於ける經濟的影響も考慮せねばならぬし、一部に強力な反對の有るのも此點で要するに可否は根本的に研究しなければならぬ、日滿兩國は將來何事に依らず協力して行かねばならぬ點に於て滿洲國の立場に對しても充分な援助をする用意はある

尚次官は本日大連地方法院の開廳式に列席し、二日大連發奉天に向ひ四日新京着の豫定である

谷口海軍大將勇退決定

（東京一日發國通）軍事參議官海軍大將谷口尚眞氏は豫ねて糖尿病のため辭意を大角海相に屢々洩らしてゐたが九月一日附愈々勇退する事になり次の如く發令された

軍事參議官海軍大將 正三位勳一等功四級 谷口尚眞
依願豫備役被仰付

通商條約締結要望に對し
我外務省ソ聯に回答

（東京卅一日發國通）太田大使は九日ソコニコフ氏と會見せる際ソコニコフ氏はソビエート政府は日蘇間に通商條約締結交渉を開始したい意向を持つてゐる、未だ具体案は持つてゐないか、日本政府の態度如何との申出であり太田大使は外務省に訓令を仰いだので右に關し外務首腦部協議の結果

一、日露基本條約は事實上通商條約に均しいもので別に締結の時期は未だ來てゐない
一、民家組織の相違のため通商條約の交渉困難なる故此際日蘇間に互惠的な通商協定締結するを適切と思ふ
一、日蘇經濟調查の交換は右協定の成立後とする

等の根本方針を決定して右を回訓した

月五名、二月十六名、三月十一名、四月十三名、五月十八名、六月三十四名、七月二十九名となつてゐる

林總裁一行
けさ新京に着

林滿鐵總裁、八田同副總裁始め、山崎、村上兩理事、宇佐美鐵路總局長、佐藤鐵道建設局長その他の一行は一日午前八時來京、一旦ヤマトホテルに落着いてのち同十時半打ちつれて關東軍司令部菱刈司令官を訪ふて新任の歡びを述べた

同一行はヤマト、國都兩ホテルに分宿のうへ二日午前九時鳩で歸任の途につく豫定である

林總裁夫人一行
新京見物に

林滿鐵總裁富喜子夫人は夏期休暇を利用し滿洲各地見物のため令孃とゝもに一日午後七時五十分來京、ヤマトホテルに投宿のはずで戰蹟その他市内見學のはず

ユレニエフ大使
日滿軍の國境侵入の事實ありと抗議

（東京卅一日發國通）ユレニエフ大使が昨日重光外務次官を訪問せるは北鐵交渉延期を申出でのためと言はれてゐるがソ大使館は右は臆測で事實は日滿軍が最近國境を越えソ聯領土内に行動せる事實ありとの抗議をなしたものであると發表した

海軍異動

（東京三十一日國通）海軍省軍務局長寺島中將の練習艦隊司令官榮轉に伴ふ海軍異動は九月一日發表の豫定であつたが軍務局長に擬せられてゐた古賀少將が脚氣のため靜養を必要とし軍令部出仕へ轉じたので吉田少將が後任となり、そのため軍務局長關係の異動は十五日頃に延期され、今日發令は左の通りである

聯合艦隊參謀長兼第一艦隊參謀長
海軍少將 吉田善吾
海軍省出仕 軍令部參謀
海軍少將 古賀峰一
軍令部出仕
旅順要港部司令官
海軍少將 津田靜枝
軍令部參謀
横須賀工廠造兵部長
海軍少將 前原謙治
航空廠長

滿鐵人事異動

（大連卅一日發國通）

經濟調查會委員兼幹事
參事 貴島克己
哈爾賓事務所産業課長
經濟調查第二部第四班主任
經濟調查會委員兼幹事
參事 內海治一
元哈爾賓事務所運輸課長
鐵路總局勤務
參事 高畑誠一

（大連三十一日發國通）

ハルビン事務所庶務課
事務員 梅田滿洲雄
ハルビン事務所地方係主任を命ず
同運輸課運輸係主任
事務員 鈴木三郎
同庶務課運輸係主任を命ず
同元運輸課混合保管係主任
技術員 柳澤彌吉
同庶務課混合保管係主任を命ず
同元庶務課産業係主任
事務員 志村悅郎
同産業課商工係主任を命ず
同元運輸課調查係主任
事務員 吉武正男
同産業課出廻係主任を命ず
同庶務課
技術員 門野良造
同産業課農務主任を命ず
同元庶務課ロシヤ係主任
事務員 佐藤健雄
同産業課露西亞係主任を命ず
同元庶務課資料係主任
事務員 中山晴夫
同産業課情報係主任を命ず

賓ブラゴエ駐在領事
一日ハルビン發歸任

（ハルビン三十一日發國通）外交部と事務打合せを濟ませてハルビンに滯在中のブラゴエシチエンスク駐在滿洲國領事賓氏は愈々一日ハルビン發ブラゴエシチエンスクに歸任することゝなつたが、同氏は歸任の上は懸案の水路交渉がロシア側代表と近く黑河に於て開始されるものと觀られてゐる

北鐵從業員
續々ソ聯へ歸る

北鐵トランチツト問題に端を發し買收問題に遷るや北鐵從業員のソ聯邦に歸還するもの漸次增加してゐるが、これが原因として次の如き見解が行はれてゐる

一、北鐵從業員の退職による歸還
二、ソ聯側が行つた各種工作の暴虐を恐れ歸還するもの
三、ソ聯政權が北鐵從業員を白系に轉向せしめざる爲の強制入蘇

而して本年に入つてから綏芬河より歸還した、ソ聯人は一

白衣同胞を巡回して慰問
軍參謀部から派遣

關東軍參謀部では在滿朝鮮同胞の重要性を深く考慮し、今春新たに參謀部內に朝鮮班を編成し、その生活安定並に文化向上のため根本方針を確立して今やこれが實行の準備中であつたところ今度びその第一着手として事變以來勞りたる犧牲に對し慰問のため巡回慰問隊を編成することゝなつた、同慰問隊は活動寫眞、蓄音機ラヂオ、慰問品等を携行せしめ來る九日から約四十日間の豫定で滿鐵沿線、東邊道間島並に北滿地方の在留同胞を巡回慰問しやうといふので目下準備中でこれが班長には朝鮮總督府松島囑託が當ることゝなつた

その日く

□
米海軍軍令部長太西洋艦隊の太平洋にとゞまるべきを聲明
太平洋上浪高し

□
南京政府が航空彩票を發行、思ひつきだが欲の皮の突つぱりあひではね……

□
建國の人柱の靈を慰むる慰靈祭四日に行はる、その第一位に列するもの皇軍將士たるに何人か異議あらん

□
滿博閉づ、一大收穫を收めて近く開からべき新京における博覽會を待たう

人事往來

▲木下中佐（騎兵第一旅團參謀）三十一日午後零時廿五分奉天へ
▲瀨山中佐（工兵十大隊附）三十一日午後三時廿五分哈市より來京
▲酒井少佐（鐵道一聯隊材料廠）三十一日午後四時三十分奉天へ
▲坂本大佐（憲兵司令部）三十一日午後七時五十分來京
▲岩田少佐（獨立守備隊）三十一日午後十時奉天へ

團体

▲愛媛縣教育會二十五名一日午前八時四十分哈市へ
▲日本縣教育團七名は一日午前六時四十分來京同日午前八時四十分吉林往復
▲大阪府立農業學生五十名三十一日午前九時五十分公主嶺へ
▲門司商工會議所團六名三十一日午前八時四十分ハルビンへ
▲愛媛縣會議員團八名三十一日午後零時四十分公主嶺へ

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 一八片〇〇
同 遠限 一八片一六分一
紐育銀塊 三五仙八分五
孟買銀塊 [illegible]
米英爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナゴンダ株 [illegible]

▲上海標金
昨止 [illegible]
高値 [illegible]
安値 [illegible]
本寄 [illegible]
歩値 [illegible]

▲上海日本向
第一回 [illegible]
第二回 [illegible]
第三回 [illegible]

▲上海倫敦向
第一回 [illegible]
第二回 [illegible]
第三回 [illegible]

▲上海紐育向
賣値 [illegible]
買値 [illegible]

▲大連株式
品 [illegible]
新 [illegible]
鈔 [illegible]

▲大阪株式
株 [illegible]
新 [illegible]
紡 [illegible]
新 [illegible]

▲同短期
新 [illegible]
新 [illegible]
新 [illegible]

▲大阪三品
當限 [illegible]
十月限 [illegible]
十一月限 [illegible]
十二月限 [illegible]
一月限 [illegible]
二月限 [illegible]

▲大阪棉花
當限 [illegible]
先限 [illegible]

▲大阪期米
當限 [illegible]
先限 [illegible]

▲横濱生糸
當限 [illegible]
中限 [illegible]
先限 [illegible]

▲仁川期米
現物 [illegible]
當限 [illegible]
先限 [illegible]

▲神戸豆粕
當限 [illegible]
中限 [illegible]
先限 [illegible]
十一月限 [illegible]
十二月限 [illegible]

建國の人柱を 滿洲國で慰靈

四日民政部前の廣場で 滿洲國政府主宰

滿洲國建國の人柱となつた、軍隊、警察、日系官吏等尊き犧牲者を祀る滿洲國軍政部、同民政部合同主催の大慰靈祭は軍政部次長王靜修氏を委員長に、軍政部郭恩霖氏、民政部警務司長長尾吉五郎氏、同總務司長竹內德吉氏を副委員長に他十九名の委員を擧げ着々準備中であつたがすべて完了去る三十一日、日滿各界に向け案內狀を發せられた、當日は溥執政の親祭があり日本側からは菱刈全權大使以下多數官民が參列する筈で、その盛儀が偲ばれる祭場は民政部前の大廣場である

先づ三日正午慰靈祭委員會正副委員長が安靈の式を行ひ翌四日午前九時から大慰靈祭が執行される、その式次第は

一、鳴　砲
二、奏迎神樂
三、降半旗
四、委員長開式の辭
五、弔電朗讀
六、執政親祭＝親臨祭壇—奠爵—讀祭文—致敬—鑾回
七、全權府、關東軍、外交團体致祭＝就位—獻香—祭文—致敬—
八、滿洲國各府院部致祭＝就位—上香—獻爵—讀祭文—一鞠躬
九、滿洲國各省代表致祭
十、各法團團体致祭
十一、亡人家屬致祭
十二、慰靈委員會正副委員長從駕宰燎

右の通りで先づ正九時委員長開會を宣し、執政親祭は九時三十分、菱刈全權大使、關東軍首腦部の參拜は九時四十分から十時三十分迄の間、十時三十分から十一時迄が各外交團体、十一時から午後一時までが各府院部長が所屬を率ひて祭文を讀み列拜する、第一が執政府、それから國務院、參議府、監察院、立法院、民政部、外交部、財政部、實業部、交通部、司法部、興安總署、一時から二時まで奉天、吉林、黑龍江、熱河四省代表、二時から二時十五分法滿團体、二時十五分から三十分迄各遺族の參拜で、午後四時慰靈委員會正副委員長の臨視夜燎いて式を終る

所期の目的を達し 滿洲博幕閉づ

きのふ閉會式擧行

（大連卅一日發國通）滿洲國建國を慶祝し併せて日滿産業に寄與せんと

『去る』七月二十三日より四十日間大連で開催された市主催滿洲大博覽會は會期中の入場者四十萬を突破し、所期の目的を達成して昨卅一日場內演藝館に於て安藤要塞司令官、日下內務局長、御影池民政署長、久保田要港部參謀長、米岡旅順市長其他、旅、大官民出品者千餘名參列の下に盛大なる閉會式を擧行した

式は先づ岡野副會長の開會の辭に次いで日滿兩國々歌吹奏後會長式辭、關東長官（日下內務局長代讀）林滿鐵總裁（山崎理事代讀）その他の祝辭朗讀あり、最後に久保田參謀長の發聲で博覽會の萬歲を三唱して十一時式を閉ぢたが演藝館後方の林間で園遊會に移り藝妓の手踊り等の餘興あつて盛會を極めた、尚博覽會當局では一人でも多く此の博覽會を見せるため一日より

『三日』まで三日間を市民デーとし晝夜間共に入場料十錢で開放することゝなつた

日滿法曹協議設立の

東京法曹團代表來滿

（大連卅一日發國通）日滿法曹界の提携により兩國親善の實を擧げんと東京辯護士會が中心となつて日滿法曹協會を設立する事となり同辯護士會所屬辯護士大塚春富、鐘ケ江豐吉、山本正一、近藤親等の八氏は同會派遣代表として卅一日入港のうすりい丸で來滿した、一行は日滿法曹協會創立準備の外東京辯護士會より執政に對する賀表捧呈、日滿兩軍慰問、滿洲國司法制度及び法律制度の視察調査、領事裁判權撤廢に關する資料調査並びに辯護士を滿洲國官吏に任用方交渉等の重要任務を帶びてゐるが一行中の大塚辯護士は語る

領事裁判權撤廢後當然起る問題は日滿兩國辯護士の起用に關する事であります、滿洲國の法廷に日本人辯護士が自由に起ち得る樣にならなければ撤廢は凡そ危險千萬なものです

尚一行は一日夜大連發北行沿線各地を視察して五日新京着の豫定である

鐵道愛護標語 懸賞募集

滿鐵々道部では左の要項で鐵道愛護宣傳標語を懸賞募集することゝなつた

一、鐵道愛護を表現する滿洲國語の標語
一、一人二種以下必ず住所姓名を明記すること
一、投稿は大連東公園町滿鐵本社鐵道部庶務課或は最寄滿鐵驛々長
一、賞金一等金三十圓、二等金二十圓、三等金十圓
一、期限　九月二十日
一、發表　十月十日滿洲發行の漢字紙

白銅貨が ニツケルに

（東京卅一日發國通）貨幣法中改正法律案は九月一日より有效となり五錢、十錢の白銅貨はニツケル貨に改められることゝなつた新貨幣の圖案は嚢に公報せる建國精神を發揚せるもので、新貨幣が實際に流通するのは九月末か十月初めとなる筈

爆彈事件に關し

田代憲兵司令官語る

數次に亘り英米領事館其他の爆破を試み滿洲國攪亂を企圖したる陰謀團の檢擧せられたることは滿洲國の基礎確實なる今日極めて當然の事と思ふが嚢に大連、本溪湖に於て檢擧せられたる季春潤一派の陰謀あり、又前軍司令官武藤元帥暗殺陰謀あり、今又斯の如き組織的大陰謀を敢行せんとするが如きは日、滿、支親善を期せんとする今日誠に遺憾に堪えない次第である

吾人は苟も斯の如き惡辣陰劍なる陰謀を試みんとする者に對しては、其の何人たるを問はず斷乎として處置するに躊躇するものではない

一味の使用せる 暗號通信

陰謀團在滿首領鸝鵬飛は在奉國旨とは常に會合所商埠地秋豐醫院に集合、郡、朱等よりの指令を傳達する外、今後の行動につき協議してゐたが特に北平朱慶瀾、郡文凱とは緊密なる暗號通信連絡をなしてゐた

通信連絡に使用せる暗號は大体次の如きものである

イ、收容高粱多少—買收した軍隊若干ため入滿
ロ、收買黃豆定安—奉天各所爆破
ハ、現所買糧價太高—當地工作不能
ニ、現下各糧價賤—好作
ホ、大豆—滿洲國軍隊
ヘ、粟—日本軍隊

爆彈犯人 一味の略歷

△救國義勇軍中佐（參謀）尚久祥（二七）民國十五年張宗昌軍に步兵中尉として入隊後軍官講武堂に入學、十七年步兵大尉となる、同年第十一軍參謀少佐に進級し、同軍解散後大同元年十二月北平憲兵司令の密令により鸝鵬飛と共に反滿抗日策動のため入滿

△救國義勇軍少將（參謀）鮑麟閣（四五）陸軍特別學堂卒業後累進し、民國十四年には山東警備司令部上校參謀長となり、十六年戰功により第四軍少將參謀長となり、大同二年劉佩忱軍第二混成旅長となり、同年反滿抗日運動に參加

△救國義勇軍少將于蔭之（三三）民國九年奉天商業學校卒業後十六年山東第五軍騎兵支隊三等軍需正孫玉驍副官を經て金家屯に阿片零賣所を經營し反滿抗日に參加

△救國義勇軍少佐崔蔭廷（三六）民國六年直隸軍學兵學校卒業方永昌軍少校を振り出しに大同元年定國軍副官後反滿抗日に參加

△建國義勇軍陶賀獻（三二）民國十二年東三省陸軍々官教導隊卒業後十七年膠東防禦總指揮部副官長、大同元年定國軍總司令部副官長を經て反滿抗日軍に參加

△建國義勇軍葉煥儒（四九）陸軍速成學校卒業後民國元年察哈爾兵站一等軍需官、民國十四年二等軍需正となり大同元年熱河氏國聯合定國軍中佐參謀となり反滿抗日に參加

△救國義勇軍張國賢（三〇）金曉樓（二九）葛敬九（二九）鄭淋深（二七）李書林（二五）何れも軍籍より身を起し大同元年に建國軍、二年に定國軍に入り將校となり後反滿抗日運動に參加

關東大震災 十周年記念祭

記念堂で盛大に擧行

（東京一日發國通）本日の關東大震災十周年日に市民は今日の復興帝都を今更に想起し感慨深し、東京府、市社會事業團体では今年は非常時の折柄でもあり一段盛大に記念祭を行ひ、復興の人柱ともなつた人々の靈を慰め同時に當時を想起して心の螺旋を引き緊めることゝなつた

本日午前九時より震災記念堂で齋藤首相、湯淺宮相、各區の遺族代表者一千名參會し盛大な追悼會が催される、午前十一時五十八分より一分間全市民默禱を捧ぐ

生花御下賜

（東京卅一日發國通）十年前の追憶新に九月一日震災記念堂で十周年の大法會が營なまれ、記念堂は早くも昨朝から多數の參拜者あり三陛下に飾はそれぞれ生花一對を御下賜あらせられ記念堂祭壇に飾らせられた、一日には百萬餘の參拜者ある見込みである

關東大震災滿十周年 追憶輪讀會

けさ西公園にて

九月一日の關東大震火災滿十周年に當り市民早起會同志相謀り今朝五時より西公園水源地の綠陰にて追憶輪讀會を催し最後に一分間の默禱をささげ一同深き感慨に打たれて散會したがなかく盛會であつた

西廣場小學校の 秋季運動會

西廣場小學校では來る十三日同校々庭で開催に決定、一日から兒童は學業の余暇にその練習に一生懸命となつてゐる、大体の競技種目はエービーの兩組に分れ、エー組の方はラジオ体操、旗體操、綱引三回、全校競走、リレー四回ビー組の方は體操二回ダンス三回、球戲二回、表現運動、來賓競走職員競走等で、萬一當日天氣が惡るければ順延の豫定である

五疊の間代 一金五十圓也

最大の科料に處す？

市內日本橋通八十四番地澁谷十三郎氏は去る七月二十四日頃より同所に於て其筋の嚴重なる取締りの目を

『盜み』無許可で下宿業を始め十數人の下宿及間借り人を置き下宿代五疊室七十圓同室間借り五十圓といふ法外な料金を徵收し、たまく宿泊人が高價なる料金に不服を述ぶれば自分は元滿洲國首都警察廳に勤務して居た關係上首都新京兩警察に多くの友人をもつてゐるが友人等は現在の料金は決して暴利ではないといつてゐると嚇しつけ、尚も不當なる料金を請求しつゝあつたのでこの事に憤慨した間借人吉本花子（三三）＝假名＝は一日新京署保安係に屆出た、門田警部補は直に澁谷氏の出頭を求めて詳細の調査を行つた結果不都合なる其の行爲は許し難きものであると直に營業停止を命じ

『申告』の手續を取つたので二日最大限度の科料に處せられる筈である

血盟團の裁判長忌避 遂に却下さる

再び酒卷裁判長審理波瀾か

（東京三十一日發國通）井上日召等の裁判長忌避は上級裁判所に報告なし東京控訴院吉田裁判長係りで審理し、二十九日井上の申立の理由として審理偏頗といふは裁判の進行中では分らぬとの理由で却下昨日被告等に送達された、從つて又酒卷裁判長係りで正式裁判續行となつたが、今後波瀾豫想されてゐる

日淸日露 戰役生殘者 苦心座談會

決死隊の話から ついに五、一五事件まで

既報、日淸、日露兩戰役生き殘りの勇者をもつて組織してゐる長勇會主催の首山堡占領日を

『記念』する戰役苦心座談會は三十一日午後五時から西公園誠忠碑前に會員八十余名參集多田少將等も參列、まづ四戶會長から開會の挨拶あり、宮本幹事から會計、事業の簡單な報告あつて直ちに想ひ出の首山堡攻擊の苦心談に移り、瀧村三郎氏の騎兵傳令の苦心各決死隊員の血の出る思ひの苦心談に花が咲き時の移るを忘れ話はついに五、一五事件に移り各自いづれも憂國の熱辯をふるひ、時局から減刑運動等に入ることは見合せることゝし

『最後』に軍神橘中佐の琵琶を聞き同八時すぎ、この憂國志士の意義ある集ひは散會した（寫眞は座談會の實況）

滿洲國文化史（三）

奉天圖書館長 衛藤利夫

この傳說は後の世の僞作だとか云ふ說もありますし、またそれらしく思はれる點もないではありませんが、それは兎に角愛親覺羅氏は長白山から流れる三つの河、今日の名で申しますと、鴨綠江、圖們江、牡丹江の何れかによつて里に出で、奉天の奧、撫順のずつと先の方の今日の興京に近い赫圖阿拉に數代相傳へて居りまして今も永陵と申しまして清祖數代のお墓がそこに御座いますが、その數代の末にそれこそ眞に世を救ふ一人の英雄兒がこの山林草澤の間から生れて來たので御座います これを淸の太祖努爾哈赤と致します、新滿洲國の溥儀執政の御先祖であつて、今日奉天東四里、俗に申します東陵で眠つて居らるゝのが即ちその方であります、長白山の麓の荒凉たる山野の間に育つて父祖は仇敵に殺され、自分は撫順の馬市に人蔘の行商をして居たと傳へらるゝ一少年の敎育と云つたらその行商の暇に水滸傳や三國誌を讀み耽つてそして自ら會得した人心の機微、戰塲の驅ひ引き、治民の要諦を以てし てやがて數代の後には東洋の歷史に於て比類のない、大淸帝國といふ一種の文化の大伽藍を築きそのスタートを切るに當時の明を中心とする漢人の世界からは恐らく蔑多、乞丐より輕蔑されたであらう、蠻族女眞の末である滿洲人、而も僅々一、二萬の兵を以てしたといふことは洵に驚くべきことで御座います、その太祖努爾哈赤の一生は所謂刻書天下に勞苦して肝脳永へに地に塗れる間に終始したので御座いますが、その兵馬倥偬の間に處して彼を一貫して指導した精神は極めて素朴な原始的とでも申しませうか敬天愛民、天を敬ひ民を愛するの一事に盡きて居ります、軍旅の間にも政治をとふにも常に殊說を腕にしてそれを揮つて、決して私心を混へない、今申す樣な根本精神に則つて裁斷を下した物で御座います、斯る簡單素朴な行も方に對して明を中心とする漢人の統治機構がその極めて精巧なる、傳統幾ケ年の學問、文化を以てして一と溜もなく總崩れに壞れてしまつたので御座います

新京銀座の露店は 九月末日まで

三笠町は昨夜限り

朝夕はめつきり凉しくなり三十一日夜の如きは浴衣一枚では冷へすぎるや〻であつたがまだこの

『氣候』は順調でないこれまでの例は新京神社祭の夜あたりがセルの着物でいゝくらひが普通であるからまだ名殘りの暑さがあるであらう、然しながら何と云つても秋だ、新京銀座と云はれる吉野町の夜店もちよつと凉しいと人足が減る、一時盛夏の宵の樣に芋を洗ふが如き雜沓は見られなくなつたが、まだなかく賑つてゐる、そこで八月末日限りとなつてゐた夜店は其筋へ延期願ひをして、九月一杯續けることゝなつた、もちろん下旬に入つてはどうかと思はれるが、あの夜店で一稼ぎして更に寒さに向つての生活の途をたてやうとする露店商人としてはまだく望みをかけてゐる譯であらう、尚吉野町にくらべて出店數も少なかつた三笠町二丁目から三丁目へかけての夜店は

『延期』せず八月一杯で切上げたさうである

城大劍道部

二日全新京と試合

大日本武德會朝鮮地方本部、朝鮮總督府警務局師範劍道範士中野宗助氏は京城帝國大學劍道部員一行十八名を引率滿洲修業の途九月一日午後三時三十五分來京九月二日午後三時三十分より西廣場小學校講堂に於て全新京軍と左記メンバーに依り試合を實施する事になつた

京城大學對、全新京劍道試合選士 自九月二日午後三時半 於西廣場小學校

城大軍　大將 荒木　副將 竹重　鶴田　渡邊　長所　新谷　鈴城　高山　渡邊（久）　牛島　山住　林　木崎　江田　我孫子　江幡　小幡　三宅

全新軍　大將 高松　副將 林　福島　宮本　蓮沼　古川　中村　山口　天坂　関高　奈良　園木　工藤　田代　飯田　高橋　野崎　佐藤

京城帝大劍道部選手二十名は中野範士引率の下に一日午後三時三十分着列車で來京吉野町記念館右横の喜久屋旅館に投宿したが二泊の豫定

國粹社會黨大會で

ニユーレンベルグ市大賑ひ

（ニユーレンベルグ三十日發國通）ナチス政權獲得以來最初の國粹社會黨大會が三十一日より三日間當地に開催さることゝなり既にヒツトラー首相も乘り込んだが各地より參加する代表で街は三倍の人口となる賑ひである

慶安異聞 艶魔地獄

（舞臺上演 映畫化）

玉水三郎

（畫）長谷川小信

（二十五）

井筒探檢（一）

或日の事、今は無役の青山主膳は、暇つぶしがてら、早朝から四谷大番町の水野十郎左衛門を訪ねて、例の通り、百人一遍に踏み殺す、千人一度に摑み殺すのといふ大言壯語を並べ立て、、馳走になつて大酩酊の上、番町の我屋敷へ歸つたが、千鳥足で居室へ通りながら、

『水を持てッ』

腰元梅野がギヤマンの水吞みへ、冷水を汲んで持つて來る。

『ゲツプ、エ、ーイ。ア、ー甘露々々。水を飲んだら又熱燗をやりたく相成つた……梅野……濁の用意致せ。酌には菊を呼べよ、その酌は飽きた』

『畏まりました』

腰元梅野は主膳が酔つたら怖いから、決して逆らはず、『へイ〳〵』言つてゐる。

濁の用意が出來ると、又無理を言ひ始める。

『菊は居らんか、ナゼ菊を出さんか、今日は菊の酌で飲みたい』

徐々本音を吐き始めた。お菊は梅野からそれと聞いて、

『イエ〳〵私如き者が、お側へ出ましては、罰が當ります。是許りは御免遊ばして下さりませ』

何處までも奴奉公人と觀念して酌になどは出ない。

『コラ何故菊を連れて來んのだ。菊は予が呼べば來るのだ。呼びに參る者が惡いのだ……早く召連れて來い』

そこへ用人相川忠太夫、恐る恐るやつて來た。

『エ、申上げます』

『オ、忠太夫か何事だ』

『怪しからぬ噂を致す者がありまして、御當家樣御名分に係はる事と存じまして、申上げに參りました』

『當家の名分に係はるとは、そりや何事だ』

酒に酔つてゐる所へ、恁うした話へを聞くと、主膳は聞流した。

『殿樣、御當家の奥庭へ、毎夜幽靈が出るとの事でございます』

『ウワツハ、、ハ、幽靈……世に妖怪變化などあるべき道理がない、呆痴けたことを申して參るな』

『イエ、世の取沙汰のみでなく、お仲間の八平、藤助の兩人が確に昨夜見たさうで、それより兩人とも發熱しまして、今日は休んで居ります』

『馬鹿なッ、下司下郎などゝ申す者は、兎角疑心暗鬼を生じ易いものだ。左樣な事を取上げるな』

『ハツ、仰せではございますが、既に御邸内の者が見屆けたとなると、私は公用人として打捨て置かれませぬ』

『いかさま、それも一理ある。然らば世間の疑念を晴らす爲、予が今晩其幽靈の有無を見屆け遣さん……忠太夫そちも今宵は寝ず番を致せ』

『ハツ心得ました』

『奥庭と申しても廣い、何れの邊に現はれたと申すのか、仲間兩人を呼んで立會はせろ』

『畏まりました』

是から仲間の八平、藤助兩人とも熱を出して寝てゐるのを起して、庭へ引張り出した。

『古井戸のある邊でございます。私共は夜更けて部屋へ歸らうと、お廐の方からお庭の垣外を通りますと、ヒラ〳〵と鬼火が燃え出しましたので、アツと吃驚駈け出しましたが、其時確に若いお武家とお腰元らしい姿の女とが、ありあり立つて……ア、思ひ出しても、ぞつと致します』

僞りとは思へぬ申立てに、流石剛情我慢の荒武者、青山主膳も千姫亂行の吉田御殿の跡といふ事に思ひ當つた。

此騷ぎが幸ひとなつて、お菊は其日主人の前へ出ずに濟んだ。

其夜は主膳が、床几を井筒の近くへ据へて腰打かけ、相川忠太夫と唯二人、徹夜して幽靈の探檢をする事となつた。

九月二日 土曜
舊七月十三日 辛未 先勝 閉 女宿

●一白の人 災禍頻りに至りて處置に窮す焦れば更に凶 乙と庚と辛が吉
●二黒の人 不利の立場となりても責任を盡すに努めよ 丙と丁と寅が吉
●三碧の人 泥田に踏み入りて自由を失ふが如き危險日 丙と壬と癸が吉
●四緑の人 因循姑息に陷りて物事捗らざること多き日 乙と辰と巳が吉
●五黄の人 衆を指揮する地位に在るも溫柔を旨とせよ 丙と丁と丑が吉
●六白の人 人心和同し業務榮え發達を遂ぐる幸運の日 癸と丑と寅が吉
●七赤の人 和氣一家に滿ちて名利を得益々向上する日 丁と癸と丑が吉
●八白の人 氣運平らかなるに安んじ無理をせば傾かん 丙と丑と寅が吉
●九紫の人 希望に燃え適進努力して功果頗る大なる日 丁と申と丑が吉

新京日日新聞
發行所　新京日日新聞社

行政の大改革を政府部内で考慮す
國鐵遞信事業を半官半民に
交通省を新設等

〔東京一日發國通〕政府の意圖する非常時に對應すべき國策の具體化には各方面の重大關心が集められて居るが、先づ當面の問題たる米穀政策は目下の處主管大臣たる農林大臣を信頼して當分其情勢の進展を注視しつゝあるが、更に他方具體化すべき國策の一つとして閣僚間には夫々行政改革問題が熟慮されつゝある、即ち先づ省の廢合に關し三土鐵相は交通省の設置を多年の持論として居り、鐵道省に於ける運輸、建設、工務等並びに遞信省の電氣、電信、電話等及内務省の土木等の現案は之を夫々往年の院又は廳に獨立せしめ、交通國策のみ交通省をして司らしめる、と云ふのであつて之に依れば完全に一省は廢止され得ると云ふのである、又鳩山文相等は國鐵及遞信事業其物を半官半民の民營會社に移せば評價財産卅五億と云はれるも其利益配當其のものだけでも尨大なる國庫收入を豫想し得るではないか、と赤字に惱む救國の一方策として考究を重ねつゝある、此大改革は今こそ其好機なりとし機を見て首相に進言し劃期的對策の具體化に拍車をかけるだらうと各方面からも多大の期待を以て注視されて居る

九年度豫算査定は嚴査節約主義で！
總額二十億以内に喰止める

〔東京一日發國通〕明年度一般會計豫算審議の主計局では各省の說明聽取も終つたので九月一日より嚴密な査定を開始するが十月末の陸軍大演習前に査定案の決定を見ようと意氣込んで居る、新規要求額十三億の中主たる經費は陸海軍事費約六億九千萬圓、滿洲事件費一億五千萬圓、時局匡救費約二億圓、爲替差損金等約一億圓であるが査定方針は極めて峻嚴である

一、新規要求は五、六億圓に留めること、軍事費は滿洲事變費も加へて三、四億圓、時局匡救費は一億圓、國債費及び爲替差損金は一億圓位とす

一、海軍第二次補充計畫、兵器資材整備費は國費の將來を考慮に入れ財政計畫と調和せしめる

一、各省新規要求は主計局で調査した物價指數で計上し緊急以外は既定經費の節約に依り賄はしめ他は削減する

一、軍事費は別途に之を審議す

以上の如き精査主義で節約を圖り基準豫算十四億二千萬圓を加へても豫算總額二十億圓を突破せぬやう各省と折衝する筈である

考査部設置は樞府で行惱む
通商審議會も實質的權威無く委員中辭退者續出

〔東京一日發國通〕考査部設置問題が樞密院で行惱み、通商審議會は略式の承認によつて實質的な權威なく民間委員中辭退するものも續出して官民合計四十名餘の豫定のところ實際出席は二十九名位ではないかと觀らる

陸軍省九年度滿洲事件費
八年度と略同額一億五千萬圓
近日中大藏省へ提出

〔東京一日發國通〕陸軍の明年度滿洲事件費に就ては陸軍省並びに參謀本部で其の要求額を協議中だつたが、大體決定を見たので陸軍省では近日中に省議を開き最後的の案を決定して大藏省に提出することになつたが、其の要求額は大體本年度と同額の一億五千萬圓程度である

日銀貸出八億圓突破

〔東京一日發國通〕金融市場は八月末は上期末より却つて繁忙で三十一日の日銀貸出高は二千萬圓以上增加して本年始めて八億圓を突破した、右は月末資金以外にも窮乏資金が巨額に達し夏秋繭資金の需要もあつた爲で銀行側も金融緩慢に安心し切つて手元を開放した爲である

敦圖線全線完成
昨九月一日滿洲國へ引渡し
同時に滿鐵の委任經營開始

〔大連一日發國通〕九月一日より滿鐵に於て委任經營することゝなつた敦圖線は全長百九十三粁、總工費千七百萬圓を費やし滿洲國政府の依頼によつて滿鐵が請負ひ建設したもので昭和六年十一月二十六日測量を開始し七年五月十日全線を八工區に分ち工事に着手し八年五月十八日開通式を擧行して今日まで假營業を營んでゐたもので八月三十一日驛舍を始め凡ての工事が完成し滿洲國に引渡し、引渡しと同時に滿鐵で委任經營を爲すことゝなつたものである

敦圖線經營滿鐵に委託す
滿洲國交通部發表

九月一日から本營業を開始した敦圖線につき、滿洲國政府交通部では同日左の如く發表した

敦化圖們江線は豫て滿鐵會社に於て請負工事中の處大同二年八月三十一日其の工事完了せるを以て同日滿洲國政府は滿鐵會社に之が經營を委託することゝせり

富田理財局長九月上旬來京

日滿幣制統一問題その他重要案件を携へて先月末來滿の豫定であつた富田大藏省理財局長は都合により出發を延期九月上旬頃來京する筈である

慰靈祭に日滿要人列席

滿洲國政府は來る九月四日中元の舊節をトし建國以來叛軍匪賊の剿討に奮闘戰歿した滿洲國軍人及警察官の大慰靈祭を新京民政部前廣場で擧行する、當日は執政も臨席され國務總理以下顯官要人悉く參列するが日本側からは關東軍司令官も臨場して友邦の貴き犧牲に敬弔の意を表せらるゝ筈である、因みに此慰靈祭には日系軍人等にして建國以來殉職せるものゝ英靈も同時に祭られる次第である

英國綿業代表卅一日出發

〔ロンドン卅一日發國通〕シムラ會商の英國綿業代表團主席代表リース氏以下代表一行は卅一日ロンドン發シムラに向つた、リース代表は出發に際し「余は來るべき日印英三國の折衝に於ては三國協議の精神の中に有終の美を收めることを確信するものである」と語つた

門野重九郎氏シムラ會商へ出席承諾

〔東京卅一日發國通〕日英綿業會商の爲奔走中の門野重九郎氏にシムラ會商に出席を外務、商工、松平大使、紡聯より懇請して居たが承諾の旨回答しアメリカ經由十月十九日橫濱著の豫定を變更し九月四日日棉業代表のロンドン著を待ち、日英會商の下交涉の引繼ぎ打合せをなしシムラに急行奔走することゝなつた、同氏に依頼せる理由は同氏が英國紡績の現狀に通じ英國代表と舊知のため會商の紛糾を避け圓滿進行を圖るためである

偶語
電信電話會社成立

日滿合作、世界においてその類例なき特殊性を帶ぶるものとして注目されてゐた滿洲電信電話株式會社は八月一杯を以て準備萬端を終りいよ〳〵一日から一齊に業務を開始した、去る三月二十六日日本代表故武藤全權と滿洲國代表謝外交部總長との間に協定調印が成立してこゝに五ケ月余、この間兩國委員の苦心努力の結果は酬ひられ日滿兩國民待望の裡にこの劃期的の大事業が芽出度く實現されるに至つたのである

○

凡そこの種事業たるや唯だ單なる電信電話の交換に止まるものではない、いはゞ一國の神經系統であり、國防治安維持上重大なる意義を有するのみならず他面文化及び經濟の發展上重大なる役割を演ずるものである、それが從來は關東州及び滿鐵附屬地は日本側に、それ以外の滿洲國領域は滿洲側の經營に屬し、同一地域において二個の同種類の電氣通信事業が相對してゐたものでそれがため相互の連絡に多大の不便のあつたことは申すまでもない

○

かゝることは獨り通信連絡上遺憾なるのみならず無益な競爭を釀し、その發達を害することにもなるわけで、ここにこれらの弊害は根本的に一掃されるに至つたことは電信電話本來の機能を發揮する意味において、また日滿親善のうへにおいて吾等に取つてこの上ない喜びである（南の子）

佛國の對滿投資調査の
リヴイエ氏ハルビンに赴く

對滿投資調査のため目下滯京中の佛國發展協會調査員アンドレー・ポアコルジヨン・ド・リヴイエ氏夫妻は日佛對滿調査會員横山洋氏と共に本日午前八時四十分發列車でハルビンに赴いたが同地で關係方面と種々打合せの上三日飛行機で歸來する

滿洲國の衞生に就て（二）
關東軍々醫部長　伊藤實三

一旦凍つた地面は上の方は四五月頃より溶けますが其の下の方は眞夏でも尚凍つて居りまして建築家の言ふには此の凍結層の下から基礎工事を始めぬと役に立たぬ相で現に佳木斯などは此の樣な譯でありますが現に北方では眞夏でも井戸の中の氷が解けない所もあります

氣壓の關係で冬は朝鮮や北支那と同樣に三寒四溫と謂ふ概ね三日間連續して寒氣が續き概ね四日間稍々暖かい感のある氣溫が續き之が時折り繰返されます併し仕合のことには冬期は風が餘り出ないのと雪が誠に少なく日本の三分の一位しか降りません殊に西部地方は殆んど十分の一位であります其の積雪量は多くて奉天で五寸、新京で七寸位、齊齊哈爾で一尺位しか降りません割合に凌ぎよいのであります又雪の降るときは寧ろ暖かであります

話は少し橫道に脱れますが寒氣を除く爲には着物を着ることも必要でありますが第一空腹であつては何んな防寒の用意をしても無効でありますので旅には間食の携行も亦必要であります

軍隊では葛粉と砂糖とを混ぜた葛湯の素を携行させて之に湯を注ぎ寒中大分寒さを凌いだ經驗を持つて居ります

夏は南風が多くありまして暑さは中々强くあります本年七月上旬新京でさへ室溫攝氏四〇度になつたことがあります、こんな時には家の戸や窓を締切り外界の熱せられた空氣の入らぬ樣にすると却つて涼しく感じます併し有難いことには濕つぽい風が吹きませんから大分氣持が好く夜になると少しく涼しくなり夜寢られぬといふことは殆んどありませぬ又五、六月になると時折蒙古風が吹いて來ます之は北支那附近で吹き上げた細かな砂塵が黃色に見えて所謂黃砂と云ふものになり之が諸方に吹いて參り時々日本附近迄參ります、北支那熱河西北等では激しいときは車も動くことさへ出來なくなります斯る時は特別に作つた眼鏡をかけないと到底眼を開いて居られません此の夏と冬との境は毎年五月上旬と十月上旬でありますが其の端境が誠に短かく僅か一週間位で非常な相違を來たすものであります

要するに滿洲には雨期と乾期とがありまして雨期は概して七八月、乾期は其の他の時期と考ふれば大差なく雨期として日本の梅雨期の如く雨がジメジメ降るのではなく降つてもすぐ天氣になります又地下の氷も溶けて土地は水を以て灌漑せられ萬物一時に生育すると云ふ時期であります諸種の傳染病の病菌も亦此の時に活躍するのであります、次に被服に就て申し上げます

滿洲人に限らず支那人は一般に仕事するに便利と云ふことと冷たいときに保溫と云ふ立場からして男も女も風の這入らぬ樣な服を着、皆パンツを穿いて居ります

之は必要に迫られた結果の習慣でありませう即ち大陸の住民は氣候の激變がありますので自然こう云ふ傾になるのが至當と思はれます

日本の如く關東以西の氣候の調和された所では風通しの良い和服で間に合ひますが滿洲では其の儘の風では容易に風を引くといふことは日本では餘り考へて居りませんが滿洲では之があります元來支那人は洗足になるとは禁物でどんな貧しい苦力の樣なものでも必ず靴と靴下とを穿いて居り靴も修繕はしてありますが必ず破れのをもは穿いてゐません

佛國文相へメッセーヂを
鄭總理の謝意表明

パリのジユルナール氏極東特派員ベルセロン氏は滯露二ケ月の後、シベリア經由この程來京し連日滿洲國政府の要人らと會見してゐるが、一日午前十時執政に面謁した、なほ三十一日は鄭國務總理と會見、その際氏は佛國官邊の教育上に關する好意を傳へ文化的支援の實を示したので鄭總理は佛國文相ド、モンジユ氏に謝意を表するメッセージを手交し將來の交誼を囑望するところあつた

皆川司法次官の視察に
滿洲國能ふ限りの便宜を備準

皆川司法次官は愈々來る四日來京するが同次官今回の渡滿は治外法權撤廢の基礎的調査を行ふ目的で滿洲國司法制度を詳細に亘つて視察するにあるが滿洲國司法部では同次官の來滿を大いに歡迎し此の機會に於て日滿司法機關の提携並びに治外法權撤廢の促進を圖る意向で調査に對して凡ゆる便宜を與ふる事に決してゐる、即ち同次官は鄭國務總理並びに滿司法部總長以下司法首腦部と懇談を遂げる一方十數日の豫定をもつて各地法院、檢察廳の實地視察を行ふもので同氏今回の調査の結果は治外法權撤廢問題解決の礎石をなすものと各方面から頗る注目されてゐる

電信電話會社入りの遞信局員訣別式

〔大連三十一日發國通〕關東州並びに附屬地に於ける電信電話事業は明治卅九年九月一日關東都督府郵便電信局が設置され、大正九年十一月一日關東廳遞信局となり今日では從事員も四千餘名に達してゐたが、今回滿洲電信電話會社の設立により電信電話事業は一切を擧げて九月一日午前零時を期し新會社へ引繼がれることゝなり、之に伴ひ二千二百餘名の從事員も會社入りすることゝなつたので關東廳遞信局では三十一日午前九時より同局後庭に於て大連在留者六百餘名參集し、廿七年間住み慣れた遞信局と袂を分つ訣別式を擧行した、式は人事係主任の開會の辭に次いで一同起立君ケ代合唱後目下新京出張中の藤井局長の挨拶は擴聲機を通じ電話にて行はれたが局長の聲涙共に下る挨拶に咳一つする者無く劇的シーンを現出した

ソ聯側委員缺員
ハルビンの北鐵交渉不能

〔ハルビン一日發國通〕北鐵ソ聯從業員の内約三百名は極秘裡に更迭、共產黨の命令により歸國した事が判明した、右は或種の重要使命を帶びる行動だと言はれてゐる、尚ほ九月一日迄の共產黨の豫定の北鐵問題に關する滿ソ會議のソ聯側首席代表パンドーラ氏は交通人民委員會の召電により近くモスクワに向ふ模樣である

斯くて北鐵理事會臨事會の聯合會議はソ聯側委員が定員を缺くので開催不能となり北鐵問題の局部的交渉は當分見込み無くハルビン交渉は五里霧中である

白系露人がハルビンに
綜合大學設立

ハルビンを中心に近時白系露人團體の活動は注目に値するものがあるがこの程ハルビンドストエフスキー中學校跡に白系露人の綜合大學（理工醫）を設立すべく寄々運動中の露西亞ファシスト黨有力者代表三名は一日文教部を訪問、設立認可方を懇願した、當局としてはこの間の事情調査の上解答するものと觀られてゐるが認可の曉は白系露人は滿洲に於ける唯一の大學を有することゝなり注目を惹いてゐる

江防艦隊相前後して歸航

〔ハルビン一日發國通〕烏蘇里江岸虎林より歸航の途中にある利綏、利濟の兩艦は三十日午後九時撫遠着、同十時三十分富錦へ向け出發した又江平、江清の兩艦は三十日朝撫遠發同日午後七時十五分新德カ下流十キロに假泊した

四平街から

紅萬字會長奉天へ

北平方面から歸來中であつた紅萬字會長馬與潭氏一行は東奔西走何事か畫策中の樣であつた處三十日午前十時五十一分離四奉天に向つたが今回は奉天經由で熱河に入り紅萬字會及道院を設立すると

提防警戒協議

豪雨水害甚大なる洮南縣では二十七日縣公署に各科局長等を召集堤防の警戒防護を督勵し一切の辦法と對策を協議し防水委員縣長以下二十二名をあげ應急處置に任ずる

囑託醫吏任

四平街駐在朝鮮總督府囑託醫は今回更代發令をみ近く總督府外事課から醫學士高文立（三六）氏が來任することゝなつた

驛構內主任着任

新任草津四平街驛構內主任は三十一日十七列車で着任した

自衛團改編と治維會

開原縣公署では一日午前十時から縣自衛團發會式と同日午後一時から治安維持會を開催したなお自衛團は從來のものを改編したもので各區から身許確實なる壯丁を選拔し基本教育を行ひ實習優良なる自衛團を編成したものであると

通遼

普通學校の教員增員

〔通遼支局發〕當地普通學校では毎年入學兒童の增加を見現在百十七名の兒童を擁し校長星氏以下二名の教員が文字通りの奮闘を續けて居たが先般來教員の增員に就いて學校當局並に鮮人民會に於て協議中の處今般當地在住柳谷氏の令妹柳谷敬子孃を招聘する事に決定九月一日より勤務尚今般の內地人教員の採用に就いて一般內鮮人間に好評をもたれて居る

人事往來

▲堂本貞一氏（朝鮮總督府派遣員事務所主任）一日午後四時半發京城へ

天氣と氣溫

けふの天氣南西の風晴、一日の氣溫最高二十八度三、低十四度四

現職の判事が共産黨の情報係り

長崎縣共産黨事件

＝一日記事解禁＝

（長崎一日發國通）長崎縣警察部では田中特高課長指揮の下に長崎、梅ケ崎、水上三署總動員し昭和八年二月十一日午前二時を期し長崎全市に ＝亘る＝ 共産黨の大檢擧を行ひ被疑者四十名を檢擧取調進行中端なくも長崎地方裁判所現任判事爲成養之助並に同裁判所雇書記山本逸馬、北村鐵雄が事件の中心人物として暗躍し居る事判明、異常の緊張を來すと共に上司に報告しその指揮を仰いだ結果檢事局側では證據薄弱を盾に爲成判事並に兩雇檢擧には不滿があつたが特高課では斷乎檢擧を主張し遂に十八日午前二時前記三名を檢擧し家宅搜索の結果多數の證據品を押收し廿日午後八時起訴前の强制處分により浦上刑務支所に收容した、かくて取調は各方面に對する證據蒐集の續行と共に被告三十七名は市內三警察署に分離收容のまま連日取調が續行されて居るが所轄長崎控訴院では取あへず本省へ報告の爲め二十日黑正檢事正を上京せしめたが更に院長石井豐七郎氏は自己の部下現任判事より此の重大事件關係者を出したにについては ＝非常＝ の責任を感じ司法大臣に對する事件一切の報告をかね自己の進退に關する悲壯なる決意の下に二十二日午後二時十分長崎驛發急行列車で慌しく東上した

各派の暗躍狀態

右長崎共産黨事件は全協、モツプル、コツプ等各派系統に關連を有し關係者亦各方面に亘り之を職業別に見るに電鐵會社運轉手、水産技手、消費組合理事、小學校訓導、造船所職工、同文書院學生、高等商業學校學生並に事件に必ずつきものとさるる女性事として は醫科大學看護婦長同看護婦電話交換手等數名あり、職業は多岐に分れ居るも何れも黨の指導精神を体し各種の印刷物回覽、會合等により周密完備せる組織の下に數組に分れ各々自黨の擴大强化に努めて居たもので人情の淳朴を以て知らるる長崎縣殊に長崎高等商業の如き二名迄も關係學生を出した事は三十餘年の古い歴史を有するに拘らず曾て一度もかかる忌はしい思想犯の出でた事のないのを全國專門學校中でも誇りとして居ただけ、それだけ學校當局は素より關係者は大なる衝擊と名狀し難い困惑の情を呈して居る

爲成判事の役割

責任は遂に司法主腦部にも及ぶべく尾崎判事、事件による司法大臣の進退問題に更に拍車を掛けし觀がある、爲成判事は今回の事件で如何なる役割を演じてゐたか 判事は昭和七年十月熱海で檢擧された新生共産黨一味が組織してゐた資金局技術部に屬し同志獲得と共に資金網の擴大と情報係を兼ね判事の地位を巧みに利用して檢察當局の動きを黨の幹部に報告してゐたものらしく此の點に關し峻烈なる取調べが行はれてゐる これより先二月十九日午前二時頃取調べに當つた田中特高課長が追究鋭く「もう是までも來てゐるのだぞ」と拘引狀をつきつけたところ判事も俄に顔色蒼白となり拘引狀を見つめ暫し茫然としてゐたが、やがて落付きを示すや態度をからりと變へ頑强に口を緘んで了つた

無口な爲成判事

爲成判事は大分縣西國東高田町字玉津出身明治卅七年生れ昭和三年東大法科卒業同年司法官試補となり五年六月長崎地方裁判所豫備判事として ＝赴任＝ 七年十二月判事となり今日に及んどゐるが學生時代から非常な勉强家で無口溫順寧ろ因循なくらひであまり讀書にのみ耽るので養母からしばしば屋外散策を勸められた位で、同僚間の氣受けもよく左翼思想を懐いて居やうなどとは誰しも氣づかぬ程で嚢に上海に於ける治安維持法違反事件に立會つたこともあるが毫も不審な態度は見受けられなかつたとの事であり、併し同判事が思想研究に興味をもつやうになつたのは學生時代からの事で長崎では裁判所フラクションを形成しやうとしてゐたものである、判事の養母を市內西山に訪へば「もの靜かで何一つ道樂せず讀書に親しんでばかり居たので今回のやうな事があらうとは夢にも思はなかつた」と多くを語らなかつたが ＝爲成＝ は親戚から幼い時、養子に來たもので親一人子一人の淋しい家庭である

承認一周年記念日 各部催し決定

何よりも先に日本へ感謝 內外へ向け大宣傳

來る十五日の滿洲國承認一周年記念日を控へて滿洲國當局の記念行事實行委員會では當日の準備につき協議を重ねてゐたが既報の如く

一、地方に對しては民政部及文教部、協和會より所管各機關に對し記念式典及行事を擧行するやう指令を發する事

一、新京に於ては市政公署中心となり簡素然も盛大に記念式典及諸種の行事を擧行する

こととしたが、また外交部に於ては當日

イ、謝外交部總長の名を以て承認滿一周年記念の聲明を發し日本の承認及爾來一年間の援助協力に對する感謝の意を表明すること

ロ、駐日滿洲國公使館に於いては當日茶會及招待會を擧行し飛行機による感謝のビラを撒布し又東京、大阪、下關の三ケ所に於いて日滿兩國兒童成績品展覽會を行ひ戰死者の慰靈、傷病兵の慰問をなし提携親善の熱意と感謝慶祝の意を表すること

ハ、新京に於いては當日謝外交部總長の主催で園遊會を開催し廣く日滿各方面の名士を招待して慶祝感謝の意を表することとし

文教部では承認に關する日滿議定書及び謝外交部總長の聲明並に執政の敎書、總理の訓詞其の他を印刷し當日全國各學校其の他の機關に於ける記念講演の資料として全國に配布、情報處に於ては各機關の連絡に當り全体的事業の統制に任ずると同時に承認記念の意義及滿洲國の實情を內外に宣傳する、協和會に於ては市政公署、情報處その他の機關を援助し事業の進行を協助することとなつた

廣島縣人會が縣人の就職斡旋に乘出す

漫然來京者のため

寶庫滿洲へ樂土新京へと針小棒大なる宣傳にあふられて內地朝鮮方面で ＝失職＝ に喘いでゐるルンペン群が夢の如き美しき憧憬と浮雲の樣な濡手に粟の想像を胸に大望を抱いて我もくと押寄せまさに新京はルンペン洪水といふ現狀を呈してゐる、だが聞いた新京と見た新京のあまりにも隔たりの多いのに幻滅の悲哀を感じて雄圖空しく歸鄕する者、警察、縣人の厄介になる者、又は不正行爲に一生を闇に葬る者等枚擧に遑ない、然し現在の新京にはこれ等の人々の ＝生活＝ の安定を保つ就職斡旋の何等の機關なくいたづらに我帝國人の恥をさらすが如き事が續々として勃發するので市內各縣人會に於てルンペン救濟並に邦人保護の下に就職の斡旋を積極的に行つてはとの議が擡頭しつつあるが、それが第一着手として廣島縣人會では專らこれに意を用ひ縣人會內に就職斡旋部の如き機關を設け大々的に活動を開始する事となつた、これにより各縣人會も我縣人救濟の爲に ＝漸次＝ 目覺て活動を開始するであらうと一般から注目されてゐる

洮昂線漸く一列車を運行

附近は尙一面の大海

（四平街支局發）洮兒河氾濫から支流の水勢に災ひされた洮昂線鐵道水害破壞ケ所は去る二十二日以來滿洲國聽の技師並に滿人二百名出場晝夜兼行で復舊に努力中なるも ＝目下＝ 破壞ケ所の兩側にワイヤにて連繫しあるも木橋完成のみにても今後約七日間を要するものの如く完全なる復舊は予測出來ざる實情である、何分現在の處附近一帶は湖水の如く平均水深五米に達し、最初の破壞ケ所を中心として東西八百米、南北約二千米近くの大湖水となつた、尙ほ同地方は去年の大水害の折り應急策として土嚢を積上げたままになつて居た處もあり地盤に弛みもあつた爲めだとも云はれる、現場の連絡は二十二日以來川舟七隻によつて行はれつつあつたが、一ケ列車の客のみでも數時間を要し郵便及小荷物運搬上渡船では ＝列車＝ の運行上停滯するので二十七日午後より復舊迄夜間の列車の運行を續けて居る

平和な厄日

二百十日も無事に お百姓さんはホット一息

颱風きのふ琉球へ

お百姓の厄日二百十日もきのふ無事にすんだやうだがこれから暫らくは颱風シーズン、殊に內地では早稻實ろけふ此のころお百姓さんに取つては颱風は一番の邪魔物だ、二百二十日も無事にすめばホット一息、平和な田舍に樂しいお祭が近づいて來るのである、扨て今年の厄日はどんなものか——二百十日のきのふ新京觀測所について伺つて見ると

一日正午現在によると沖繩縣那覇の南西百浬のところに七百三十ミリ、有力な颱風が現はれ二十米以上の速力で琉球列島を襲つてゐる、同列島はいま暴風の最中だが北西に向つて進行中で、支那海又は黃海に入るであらう內地は今のところ暴風の心配は全然なし、九州方面は高氣壓がさざす位のもの、けふは內地も至つて平穩です

と語つてゐたが、この颱風も若し滿洲に上陸しても大連附近が侵される程度で、それも上陸すれば氣力はすつかり衰へて新京では何ら憂ふるところなからうとのことだ

數字がしめす

日本から滿洲國への關心 八月中の來京者はまたレコード破り

二十世紀の寵兒世界の視聽を蒐める滿洲へ ＝新京＝ へと見學團、視察團は洪水の如く押寄せ、列車到着毎に新京驛は毎日大混雜を來してゐる、殊に夏期休暇はこれに拍車をかけ、八月は新京驛始まつて以來の大レコードを樹立した、視察、見學團員數は四千九百四十九名で五月より四百七十一名少いが、團体數においては實に百二十四團のレコードを來し、これを昨年八月と比較すると團体數において約四倍、團體人員數において五倍强の驚異的數字を現はし、如何に事變後の ＝滿洲＝ に日本內地で重大關心を持つてゐるかを如實に物語るものとして興味の眼を以て見られてゐる

大震災記念祭

參拜者百萬に達す

（東京一日發國通）關東大震災は早くも十年、追憶を新たにして一日本所被服廠跡の震災記念堂に於ては午前九時より十周年の大法會が營まれ ＝祭壇＝ には畏くも三陛下より御下賜の生花各々一對が飾られ齋藤首相以下各閣僚其の他市民の參拜者踵來引きも切らず異常な賑ひを呈してゐる此の日五百萬市民は勿論畏くも葉山御用邸御滯在中の兩陛下大宮御所に在す皇太后陛下におかせらても慘禍の時午前十一時五十八分を期して暫し御默禱死者の靈を慰め給ふた、此時市電も三十秒停車し全市の進行も一瞬停止されて默禱に當時を想起した、市內には禁酒會の酒なしデー其の他震災當日を其の儘うつす假裝行列などが行はれ例年に增して數々の ＝追悼＝ の催が行はれた、震災記念堂の參拜者百萬人近くに達する模樣である

黑河附近九縣に治安維持委員會設置

（チチハル一日發國通）從來交通不便のため黑河方面黑龍江沿岸の九縣には治安維持委員會が設定せられて居らなかつたが今回國境方面多事なるものあるに鑑み之が設置を急務とし黑龍江省治安維持委員長たる當地〇團參謀長飯野大佐は一日飛行機で黑河に赴き同會の設置をなす事となつた

八棵子分遣隊 十數倍の匪賊を走らす

九月一日午前一時頃指揮者不明の匪賊二百五十餘開原縣八棵子（開原東方五十粁）の守備隊分遣隊を包圍し一齊に攻擊を開始したので同分遣隊長大橋軍曹以下二十名の隊員は必死となつて應戰し夜明け頃まで激戰の後匪賊を北方に潰走せしめた、この戰鬪に於て大橋軍曹外二名は壯烈な戰死を遂げ、六名の戰傷者を出すに至つたが敵の損害死者五十を下らず、現場一帶鮮血に染み敵の遺棄死体累々として凄愴を極めてゐる、急報に接した開原守備隊長は午前四時兵〇〇名及公安隊〇〇名を指揮し現場に急行、殘匪を掃蕩中である

輕油動車の乘降口を一定

後部を乘車、前部を後車口に

かねて試驗中であつた輕油動車の乘降口を區別し、乘降客の混雜に備へる試みは非常な好成績を擧げ、混雜を緩和すると共に事故減少の一石二鳥となるので近く、輕油動車の後部を乘車に前部を降車口として實施することとなつた

救出急行の警官 現地到着

（四平街支局發）既報洮南附近六家子在住鮮人三十名を救出の爲め二十七日午後三時三十分現地に急行した我領警分署警官隊は同夜は夜を徹して行軍二十八日午前九時三十分目的地に到着直ちに救助に着手した然るに三十名中十七名は若干の食料並に貯へあり現地に殘留して減水を待つ意向あり依つて附近蒙古人豪農方住宅に避難せしめ、十三名及逃げ後れて現地附近に居たる滿人三名を救助の上二十八日午後六時洮南に歸來した

廢墟の如き通遼

（通遼支局發）二十九日夜半より降雨は大雷雨と化し漸く三十日午前三時半頃降り止んだが近來にない豪雨で城內道路は一帶に浸水倒壞家屋も相當あるらしく滿洲街に至つては全く廢墟の跡を見る狀態にて慘狀を呈して居る

全滿軟式庭球選手權大會 三日大連で

全新京から四組出場

全滿軟式庭球選手權大會は來る三日（日曜）午前九時より大連北公園コートで開催さるべく、これがため全新京庭球部より左記四組出場した

1（加藤 林）　2（大串 中村）　3（上野 竹內）　4（岸川 林）

客、貨車の事故激增

旅行者並に貨物の大激增に正比例して、新京鐵道事務所管內客貨の事故は增加する一方で、滿鐵必死の豫防にも不拘八月中の事故は不引取の十五件を筆頭に不着四、減量三、死傷二、變質一、荷崩一、で合計二十六件先月の六割增となつてゐる

各官廳の執務時間

きのふから四時まで

暑熱の爲半日執務であつた市內各官廳もいよいよ一日より從前通り午後四時迄の執務となつた新京局窓口の現金取扱もこれに順じ四時迄取扱うこ

ハルビン郊外の匪賊大討伐

（ハルビン一日發國通）日滿聯合警備隊の水陸空三方面よりの大々的ハルビン近郷の匪賊討伐の際松花江下流呼蘭河で有力な支那共産黨員二十名を逮捕し當局は嚴重取調中だが取調の進展により意外の事實が暴露する模樣である

遺骨四体二日內地へ

二日午前九時五十分發列車で獨立守備隊と哈爾賓鐵道隊、軍司令部軍屬等四體の遺骨が內地へ向け送られる

さゝやき

▲精養軒の女給連一日より秋冷の裝いも嬉しく丸帶姿で常連の御機嫌をうかがうそうだ▲滿洲の女給連か？經營者か？それ共女給連からそそのかされた鼻下長か？鼻息もなかなか荒く先日のせとこましいささやきに憤慨して、ささやき子の人身攻擊を日報のマイクに訴へたそうだ、そう血迷はず見當を違へず堂々と抗議を申込めぬだけ事實で今に其筋の鐵鎚に泣きづらをかく時が來るだらう▲葵東の小六先日たつた一人の父親をなくし平素あれだけ朗らかだつた彼女も近頃さても憂鬱になり時

吉凶禍福

△新京入船町四丁目十三林順一氏長男昌志さん、二十八日午前二時五十分死去

ラジオ

二日（土）新京

- 奉天後 四、〇〇 レコード 相場
- 新京後 四、三〇 演藝 商業通信社
- 同後 五、〇〇 講演 關於最近の蘇聯狀勢 總務院情報處情報科長 姚任
- 同後 五、三〇 ニユース
- 東京後 六、〇〇 ニユース 滿洲語 東京中央放送局編輯
- 新京後 六、二〇 語學講座（滿洲語）講師 高宮盛邁
- 六、四〇 同（日本語）同
- 同後 七、〇〇 ニユース 英語 植松金枝
- 同後 七、一〇 ニユース 露西亞語
- 同後 七、二〇 ニユース 朝鮮語
- 同後 七、三〇 ニユース 氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
- 同後 八、〇〇 演藝
- 同後 八、三〇 時報
- 東京後 八、三一 ニユース 東京中央放送局編輯

滿洲電信電話會社成立について（下）
山内總裁の挨拶

今本社事業の內容の一端を箇々の事業別に就て、極めて簡單に申上げてみますならば先づ

有線電話に就きましては、從來經營主体が異つて居りました爲め種々程度の差が甚しかつたものを改善し、その統一を計り、新京、吉林間、新京、哈爾賓間、奉天、齊々哈爾間の樞要區間の回線の增設を計畫して居ります。又現在東京、大阪、下關等の主要都市に對する直通線に就きましても、新京、大連を中心として增設擴張を見ることになると思ひます、次に

電話の制度は、電信に比べまして一層不統一でありますから、本社は今回引繼ぎまして官營のものの外に私設電話をも買收し、又新に通話事務取扱局を多數開設して通話を明瞭ならしめ又加入電話の架設に就きましての不利不便は此際一掃致しますべく準備中であります

無線電信に就きましては、現今世界通信事業界は將に無線時代に入つて居るにもかかはりませず從來滿洲に於ける此の種設備には仍ほ遺憾の點がありましたが、これは近く對歐、對米對日用の一大送信所を設けて面目を一新せんと致して居ります、次に

無線電話に就きまして、これは現在滿洲には開かれて居らないのでありますが、新京無線電信局落成の上は、日滿兩國重要地間に聲と聲との交換をなし得る樣、その他「テレヴイジヨン」の實用化計畫に就きましても目下愼重計畫中であります

最後に

ラヂオ放送でありますが、これは現在、大連、奉天、新京及哈爾賓の四放送局があるのでありますが、是等の設備改善擴張を計り、更に近き將來、齊々哈爾にも一局を新設して以て全滿の放送事業を統一し又、新京より哈爾賓、齊々哈爾兩地へも中繼放送用電話回線を設くる豫定であります

放送內容に就きましては各局夫々その地方獨自の放送內容を發揮します樣、放送番組の編成上にも一大革新を加へて其の內容を充實し以て時間と空間とを超越した「ラヂオ」の社會的文化的命命を全滿に行亘し、日滿の空を結ぶ電波の「プロフ夕」益々擴大せしめたいと考へて居ります

由來支那は文字の國でありますけれども、實際に於きましては文字即ち目に依る方法よりも、寧ろ「ラヂオ」に依ることに依りまして耳に訴へることに依りまして報道、教養、慰安、娯樂その他の方面に於て民衆の智識、生活の向上に貢獻し以て滿蒙文化建設の基調と致したいと存じます

滿洲の位置は日本、中華民國、ソヴエート三國の間に介在して居り、歐亞交通の要路に當り、東亞大陸に於ける通信連絡の中心を占めて居ります關係上、對外通信、國際放送に就きましても特別の活躍を爲さねばならぬと信じます、更に今後世界に於ける大電力競爭に鑑みまして、一大電力放送局を建設し東亞の平和と發展とに資する豫定であります

我社は事業繼承直後でありまして、未だ所期の一端をも表す運を得ないのでありますが、今後常に事業の性質の公共的のものであることに想ひを致し、事業自体の發展を第一義として必しも營利を目的とせず、優良なる「サービス」の提供を念とし、以て日滿兩國が國策として本會社を設立せられました趣旨に適應し、滿洲國建設の大業達成に寄與しますと共に、日滿兩國共存共榮和衷協同の大義にも副ひ延ひては世界の平和にも貢獻せんことを期するものであります

我が滿洲電信電話株式會社の開業の日に當りまして、全滿の皆樣に、我社の使命の重大なる所以と、我社の覺悟の存する所を御諒解願ひまして、將來永く我社の事業を愛護せられ、鞭韃せられ以て其の目的の達成に絕大なる御援助を賜らんことを切望致しまして御挨拶に代へる次第であります

滿洲中央銀行上半期の經過（下）
第二期定時總會に於ける榮總裁演說概要

本期中の營業の概況を見るに預金に於ては前期末殘高五千萬圓に過ぎざりしが本期末殘高は政府預金其の他を含め四千七百萬圓を增加し九千七百萬圓を算するに至つた、由來滿洲は民衆の間に於ては預金の習慣乏しく極めて貧弱の憾みあるを以て漸次預金の必要を理解せしめ貯蓄精神の涵養に努力しつつある。貸出に於ては前期末殘高一億二千四百萬圓なりしが本期末殘高一億九百萬圓に下り一千五百萬圓の減少を見たり是れ主として特產資金の回收に基くものである。又貸出狀況に就ては本行開業匆々にして未だ特に掲ぐべきものなしと雖も產業の開發、經濟の伸張は一日も忽緒すべからざるを以て必要に應じ產業資金の放資に努め本期中に於ても特產資金として貸出されたるもの四千萬圓を超え此外春耕資金、各地商工貸款等亦相當額に達せり、春耕資金は水災匪災等の被害に因り窮乏せる農業經營者に對し農耕に必要なる種子、牧畜農具、勞力等の諸經費に充當する貸付金であつて本年六月末迄に約一千萬圓の貸出を爲し其の口數實に六萬餘の多きに及んだのであるが之に因て疲弊せる農民を窮地より救ひ農業に從事するを得せしめる效果は相當大なるものがあつたと信ずる、次に爲替に於ては本期中國內爲替の受拂額四億五千四百萬圓此口數二十五萬三千口にして前期の二億五千百萬圓此口數十一萬五千口に對し金額に於て八割口數に於て十二割の增加を示して居る、右は特產物移動季節の關係によるものあるも大體に於て治安の安定に伴ひ金融の圓滑を加へ、銀行利用增進の趨向を現はするのである

產金に關しては政府は新に六月十四日金輸出禁止法を以て金の輸出を禁止し同時に產金買上法の發布あり、本行は之に基き產金買上を實施することとした

又本行開業と同時に併合せられたる舊行號よりの引繼資產に對しては政府に於て任命せられたる鄭國務總理を會長とする滿洲中央銀行繼承資產審査委員會に於て調査を爲し嚴密なる評價の結果不足分に對し政府公債三千三百萬圓の交付を受くることとなり本行の基礎は愈々鞏固を加ふるに至つた

更に支行の廢合整理に關しては舊官銀號と同一地に各官銀號共支行を有する場所少からざりしを以て之等は一店に業務を併合し又從來支行の存在せざる場所にても、庫內の取扱ひ其の他各般の事情より見て支行又は辦事處の設置を必要とする場所には之を新設し行務の運用に支障なきを期して居る次第である、即ち舊期末に於ける本行營業處の總數百十八個所なりしが本期中に其の內三十一個所を廢止し新たに二十九個所を開設したる結果本期末に於ける總數は百十六個所となつたのである

舊官銀號より引繼ぎたる附屬業務は極めて複雜多岐に亘り其の整理及び分離は容易ならざるものなりしも幸に各方面の援助に由り質業、造酒、製油業等は之を大興公司をして引繼がしめ本行は其の成立を助成し以て庶民金融機關發達の一助となしたのである、尚殘餘の附業につきては已に成案を得て分離の手續中である

殊勳の人々〔中〕
軍司令官から感狀を授與

感狀

飛行第〇〇隊中隊長 陸軍航空兵大尉 藤田雄藏

大尉は第一中隊長として常に率先自ら難局に當り部下將兵協に明せずして其の風に傚ひ一致協力己を空うして任務に邁進するの美風を作せり

其の熱河作戰に參加するや長山峪附近の戰鬪に於て西部隊か優勢なる敵と交戰既に三日三月九日敵の逆襲に會ひ黄土嶺南側稜線は彼我の距離僅々五十乃至百米に接近す即ち大尉は肉彈を投ずるの慨を以て急降下爆擊及射擊を繰り返すこと四回遂に敵の一角に動搖を與へ全線退却の動因を與せり其の他南大門に於て將又河北省の各地に於て勇猛果敢克く地上部隊に協力し而も其の要望に對しては喜んで死地に赴き空地協同の極致を發揮せり其の功績拔群にして其の行動は空中戰士の典型とするに足る仍し茲に感狀を授與す

昭和八年七月二十五日 關東軍司令官 武藤信義

〇

獨立守備步兵第〇〇隊第四中隊 陸軍騎兵曹長 此內良吉

曹長は乘馬分隊長として森畫大尉の指揮する臨時集成乘馬步兵隊に屬し昭和七年十一月二十四日樺甸附近の討伐に參加す東北岔附近に於て敵の大行李を急襲して一擧に其の幹部隊百餘名を一蹴し中隊をして大勝屯附近に於て行李全部を押收せしめたり

次に官街南方地區に於て約二千の敵と不期遭遇するや一瞬にして襲擊の好機を看破しつゝ尖兵長に報告すると共に自ら先頭に立ちて敵中に突入し奮戰格鬪乘馬步兵隊をして大捷を博するの因を作爲し更に官街東方地區に進出して二千餘名の敵縱隊に對し率先猛襲して之に痛擊を加へ潰亂に陷らしめ以て官街を重圍の中より救出するを得しめたり

又昭和八年六月七日第四中隊か羊祭台峠に於て堅固なる圍壁及高地に據れる匪首大成軍の指揮する約四百の敵と遭遇するや曹長は乘馬分隊長として攻擊に參加す中隊は逐次敵陣地の要點を占領して最後の複廓たる家屋に對して突擊の準備中なりしか屋內の敵は要害を扼して頑强に抵抗し死傷續出し攻擊を極め突擊の實施困難なるの狀況を呈せり乃ち曹長は危險を顧みず身を挺して圍壁入口に肉迫し屋內に手榴彈三發を投擲す、時偶々敵彈の爲壯烈なる戰死を遂ぐ、然れども其の勇猛果敢なる行動に依り敵に大なる脅威と損害とを與へ之を動搖せしめ中隊か突擊實行の端緒を作り匪首以下を悉く殲滅するを得しめたり其の功績拔群にして其の豪膽勇武犧牲的精神の旺盛なる以て軍人の範とするに足る

仍し茲に感狀を授與す

昭和八年六月七日 關東軍司令官 武藤信義

赤十字社滿洲本部の社業に就いて（三）
どんな仕事をしてゐるか

（七）巡回施療 關東州內の部落僻陬にして醫藥の便を缺ける者を診療救濟するを目的とし醫員、看護婦を派遣巡回せしめて居るが年を經るに從ひ我醫術の眞價を覺り今日には每回一箇所にて患者數百名蝟集す、右は啻に傷病の難苦を救濟するに止まらず衛生思想の普及上に好影響を有する事業なれば將來に期待せらるゝ所大なり

（八）救急箱の配置 是は貧窮部落民の苦難輕減を顧慮して設けられたものである、巡廻施療は現在春秋二季に出でざる爲平常の疾病、傷痍の應急に處する措置として救急箱を各警官派出所、公學堂及事務所に配置せるが現在の配置箇所は旅順支部以下支部管內各所にして計百五十四箇所である

（九）結核豫防撲滅事業 是は民國三年以來實施せる所にして現在では專ら患者の收療豫防撲滅並智識の普及を圖り居れり

（一〇）兒童保健事業 第二國民の育成に關する兒童の保護事業にして之は人生の幸福增進に寄與する所頗る大である

〔イ〕保養所に醫員、看護婦を派遣す 民國十一年以來各學校主催に係る學童の海濱保養、林間聚樂に際し醫師及看護婦を派遣して傷痍疾病の治療及介輔に任ずる

〔ロ〕學校に看護婦を派遣す 關東州內各地小學校及公學堂を初め外二十二校に看護婦各一名を派遣し學童の保健、保護に從事せしむ是は兒童の疾病看護に止まらずして校內の衛生的施設に付效果を奏して居る

（一一）少年赤十字團 萬國赤十字社聯盟規約は赤十字の平和事業を一層擴張し人類の福祉を增進すべきことを締盟し各國は斯の主旨を實行する機關として各國學童間に少年赤十字を設立すべきことを議決したるに基き我少年團は第一健康の保全と其の增進第二良國民たるの理解と體得第三人道の尊重即ち博愛の精神を涵養し善良なる國民たる基礎的訓育を厚ふするの趣旨である現在の團數五、團員一百三十名

變幻黒船往來

禁轉載上映及上演

寺島柾史（作）　布施長春（畫）

第百三十七回

人間爭奪（四）

鶯別のピリカメノコは、まだ、高島出張番所の板倉にをつた。窓一つない、暗い板倉の中に數日幽閉されてをつたので、それに徒士足輕の運んでくる飯も攝らずたゞひとつ、絶食で番所の役人に反意を示してゐるのだが、それほどに消沈してもをらず、鶯別の草原で白軒の佐次郎と戀を語つてゐたときのまゝに、瞳美しく唇紅く、そして、亞麻色の髮の毛はつやゝかであつた。

チプヌイは、暗い板倉の中で、いつも、いつも唄つた。白皙端正な佐次郎を幻に描きながら、ほがらかに唄つた。

ハイクンテレケ
ハイコミテムトリ
モシレサニ、カムイサニ
タプカシケ
チイホラリ、オカヤシ
シネアント、タア、ソイタア
ソネアシ、インカラシ、アワア

唄ひながら、暗い中でひとりほゝ笑むだ。そして、この唄聲に誘はれて、きつと白軒の佐次郎は立戻つてくるものと信じられた。

ボイア、ネト、ネトクリカシ
テシナタラ
アタイソ、カタ
オキキリムイ、ミユプンラムカ
サマユンクル
……………

しまひには、自分の聲に醉ふてよろ／＼と立上り、ひとり、寂しく舞ふのだつた。

——きつと、佐次郎しやまは歸つてくる……。

唄はぬときは、チプヌイは、絶えずこのことを口走つた。

すると、そのたびに、あの日、板倉を襲ふて、大切の佐次郎を奪ひ去つた、ニゴリナイのフラメのことが、意地わるく眼前にうかんだ。

しかも、あだめいた濱千鳥に誘はるゝがまゝにチプヌイに何の未練もなさそうに連立つて去つた佐次郎が恨めしくもあつた。番士の足輕を叩き伏せた、獰勇無類な鍛冶小屋の親方までが、憎々しかつた。

——でも、佐次郎しやまは、いまに、きつと戻つてくる……。

そのいまはしい憎惡の念を打消すやうに、いや、しばしでも忘れやうとして、最後にかう斷定して更にほがらかに唄ふのだつた。

……海幸をよろこび舞ひ
海幸をば喜びおどり
……………
六枚の着物に帶を束ね
六枚の着物を羽織つて
りつぱな神の冠
先祖の冠を頭に冠り
……………

そして、たうとうピリカメノコのチプヌイは、萬感胸にせまつて冷たい板敷のうへに突伏し、聲を忍び、いつまでも、いつまでも泣き崩れるのだつた。

けふも、チプヌイは、ひとり朗かに唄つた。ひとり哀しく歎いてをつた。このさき幾日か、さらに幾十日續くかしれぬ、むなしいのぞみを胸に描いて、板敷のうへに突伏してをると、やがて、とつぜん入口の戸が開いた。

番士の足輕が、朝飯を運んできたのだらう……と、おもつたので顔もあげずにゐると、無斷で入つてきたその人間は、番士らしくない情のこもつた聲で、自分の名を呼ぶのだつた。